

不自由を  
自由にかえる  
ボランティア

—福祉標語入選作品から—

笠間市社協  
宍戸支部だより

第118号

平成29年6月10日発行

発行 笠間市社協宍戸支部長 伊東 勝男  
編集 宍戸支部広報委員会  
印刷 大塩企画

施策

- 地域住民とともに社協活動への理解を深め、会員の確保に努める。
- 区長会、民生委員・児童委員協議会、まちづくり宍戸塾及び防犯連絡協議会との連携を強化する。
- 笠間市社協との連携を強化し、他支部との交流を進める。
- 福祉推進員の資質向上に資する研修会及び視察研修を実施する。
- 児童福祉事業の充実を図る。
  - 小学校との連携を密にした「三世代交流事業」への協力
  - 子ども会、スポーツ少年団活動等への援助
  - 学童育成に対する援助活動
  - 地域の教育環境整備及び登下校見守り活動に協力
- 北山公園桜まつりに参加協力する。
- 友部公民館「出前講座」に参加協力する。
- 社協宍戸支部会館を会場とする「介護予防の運動・体操教室」に協力する。
- 各専門委員会の事業
  - 青少年健全育成委員会
    - 青少年健全育成及び安心して住める地域を目指す「地区懇談会」の開催
    - 「小学生夏休みものづくり体験」実施
    - 「子どもと高齢者のふれあい広場（仮称）」実施
  - 女性部
    - 高齢者を対象とした毎月1回の「配食サービス」を実施
    - 福祉意識高揚を目指した「福祉バザー」の開催
    - 女性部員の特性を生かした「手づくり会」の実施
    - 福祉施設でのボランティア活動の実施
    - 資質向上に資する研修会及び視察研修の実施
  - こぶしの会
    - 「配食サービス」時、高齢者との交流活動の実施
    - 高齢者によるグラウンドゴルフ等各種行事に対する援助活動の実施
    - 「ししどサロン」を開催し、より充実した高齢者福祉を推進
    - 高齢者を対象とした市外研修会「自然観察会」の企画・運営
  - 広報委員会
    - 「宍戸支部だより」第118号～120号の発行
    - 研修会及び視察研修への積極的参加
    - 広報関係諸団体との交流促進

支部役員

支部長 伊東 勝男 中町  
副支部長 森田 和美 旧陣屋2区  
同 谷田部敏男 大田町1区  
・専門委員会委員長(部長)各1名 (2面に掲載)  
・支部委員 各行政区1名 (2面に掲載)  
会計関 令子 橋爪2区  
同 西村 安美 下町  
監事 瀬谷 雅彦 松山団地3  
同 桑島 健 南小泉2  
同 海老沢征子 旧陣屋2区  
顧問 幾浦 忠男 旧陣屋2区  
同 根本 芳雄 大田町2



▲代議員会(4月22日支部会館で)

方針

笠間市社協宍戸支部は、笠間市で唯一活動の拠点である支部会館を持っていません。当支部はその利便性を十分に生かし、青少年健全育成委員会、女性部、こぶしの会、広報委員会などの専門委員会が中核となり、子どもから高齢者まで幅広い事業を推し進めてまいり

ました。今後はさらに、組織を充実し各関係機関、各種団体との連携を図り、宍戸地区の皆様との協力を得ながら、地域に密着した事業を推進してまいります。

平成29年度

役員改選の年となる代議員会が四月二十二日に行われた。社協関係者ら七十三人が出席する中、一部規約の改正と共に、新支部役員等が決まった。

再任となった伊東支部長は、皆様からの励ましと捉え、さらなる地域に根ざした事業を全力で臨むと意気込みを話し、参加者に協力を呼びかけた。

代議員会

地域に寄り添い、住民の幸せを願って  
より質の高い事業を推進

平成28年度 決算報告 自H28.4.1～H29.3.31

収入の部 (単位:円)			
項目	予算額	決算額	増△減
繰越金	111,718	111,718	0
還元金	880,000	889,500	9,500
助成金	163,000	163,950	950
事業収入	448,500	444,120	△4,380
寄付金	10,000	10,000	0
雑収入	1,500	16,029	14,529
合計	1,614,718	1,635,317	20,599

支出の部 (単位:円)			
項目	予算額	決算額	増△減
会議費	15,000	12,498	△2,502
事務費	10,000	9,232	△768
事業費	1,510,000	1,359,061	△150,939
雑費	30,000	32,400	2,400
連絡調整費	15,000	10,630	△4,370
予備費	34,718	0	△34,718
合計	1,614,718	1,423,821	△190,897

収入合計1,635,317円ー支出合計1,423,821円＝残金211,496円 次年度へ繰り越し

平成29年度 予算書 自H29.4.1～H30.3.31

収入の部 (単位:円)				
項目	本年度予算	前年度予算	増△減	付記
繰越金	211,496	111,718	99,778	前年度繰越金
還元金	880,000	880,000	0	会員会費還元金(会員会費助成額)
助成金	163,000	163,000	0	福祉コミュニティ助成金 50,000 広報助成金 88,000 宍戸小PTA助成金 25,000
事業収入	440,000	448,500	△8,500	福祉バザー収益金 桜まつりバザー収益金 女性部手づくり収益金 配食個人負担金
寄付金	10,000	10,000	0	地域からの寄付金 他
雑収入	24,000	1,500	22,500	まちづくり宍戸塾よりコピー機リース代 利子 他
合計	1,728,496	1,614,718	113,778	

支出の部 (単位:円)				
項目	本年度予算	前年度予算	増△減	付記
会議費	15,000	15,000	0	代議員会 両委員合同打ち合わせ会 他
事務通信費	10,000	10,000	0	封筒 コピー用紙 ボールペン 他
事業費	1,540,000	1,510,000	30,000	青少年育成費(地区懇談会等) 100,000 女性部活動費 100,000 こぶしの会活動費 70,000 広報紙発行費(支部だより3回分) 170,000 児童育成費(笠子連宍戸小支部活動) 50,000 視察研修費(3回実施分) 75,000 体育費(宍戸小三世代交流事業) 60,000 研修会参加補助費 5,000 在宅福祉費(配食12回分) 350,000 高齢者補助費(高齢者クラブ) 50,000 区長会活動助成費 50,000 高齢者助成費(ししどサロン他) 150,000 需用費(電話・ガス・保険料他) 300,000 備品購入費 10,000
雑費	35,000	30,000	5,000	会館内コピー機カートリッジ代
連絡調整費	15,000	15,000	0	各事業実施へ向けての連絡経費
予備費	113,496	34,718	78,778	
合計	1,728,496	1,614,718	113,778	

※高齢者助成費(グラウンドゴルフ大会 春・秋開催 ししどサロン経費を含む)※需用費(コピー機リース代を含む)



支部委員

- 支部長 長谷川良亮 上町
- 副委員長 大和田正三 中町
- 仁平 進 下町
- 橋本 薫 橋爪一区
- 小松 英泰 橋爪二区
- 江田 兼廣 矢野上郷
- 庄司 誠 大古山
- 中塚久美子(ベリニョリ子) 夜
- 武田 貞明 南小泉一
- 角田 恵司 南小泉二
- 中崎 裕子 南小泉三
- 星野 登 下加賀田
- 村上 勉 旧陣屋一区
- 雨谷 高市 旧陣屋二区
- 小野瀬 彰 旧陣屋三区
- 長山 春江 小人町
- 樋口 隆史 八反山
- 田中 善次 星山
- 谷田部敏男 大田町一
- 庄司 博光 大田町二
- 原田 功 松山団地一
- 面川 晃 松山団地二
- 大内 輝子 松山団地三
- 富田 浅雄 松山南団地
- 石川 敏之(豊松山アパート) 松山南団地
- 赤澤 孝之 八幡下
- 藤澤 重幸 ひばりヶ丘団地
- 青山 桂壽 大古山バスター

女性部

- 部長 山本 信子 旧陣屋三区
- 副部長 小菅 栄子 中町
- 藤木喜代子 大田町二
- 土屋 時枝 松山団地二
- 吉井 静子 八反山
- 大根 法子 矢野下

青少年健全育成委員会

- 委員長 雨谷 高市 旧陣屋二区
- 副委員長 森田 和美 旧陣屋二区
- 関 令子 橋爪二区

こぶしの会

- 委員長 羽生 力 松山南団地
- 副委員長 山中 一義 南小泉一

広報委員会

- 委員長 山本 弘子 大田町二
- 副委員長 小川 福子 旧陣屋一区

民生委員・児童委員協議会

- 民生・児童委員 小菅 栄子 中町
- 桑島 裕子 橋爪一区
- 武田 富雄 南小泉一
- 横倉 一男 大古山
- 幾浦 正道 旧陣屋二区
- 青野 民男 旧陣屋三区
- 仲野よし子 大田町一
- 藤木喜代子 大田町二
- 磯部佐智恵 松山団地二
- 芥川 麗子 松山団地三
- 岩田 幸雄 八幡下

お知らせ

- 1 社協会員募集の頃となりました。誰もが幸せに暮らせるために、会費の納入にご協力をお願いします。
- 2 子どもから高齢者まで安心安全に暮らせるまちづくりを目指して「地区懇談会」を6月24日から開催します。地域や家庭で困っていることなどありましたらお聞かせ下さい。
- 3 5月28日に行われた福祉バザーで268,260円の収益がありました。ご協力ありがとうございました。

健康づくりの輪を広げて



松山団地2 磯部佐智恵

まちの声・むらの声

平成二十五年十一月に松山団地シルバリーハビリ体操教室が開設されました。シルバリーハビリ体操は太田仁史先生が考案された体操です。年齢と共に低下する筋肉(二十歳代がピーク)を維持しそれに伴う肩、腰、膝の痛みを予防します。体の柔軟性を高め日常の生活動作を楽にします。道具を使わずにいつでもどこでも一人でも行うことができます。

私が体操指導士養成講習を受講したのは四年前です。友人から勧められたのが資格をとるきっかけでした。また大腿骨を骨折してしまい、やっと杖で歩行ができるようになった高齢の母親でも無理なくできる体操であると思つたのと、健康管理に関わる仕事をしていたので興味があったからです。

自治会館で月二回実施している体操教室ですが、団地内の方々と楽しく交流ができ、コミュニティの場にもなっています。少しずつですが健康づくりの輪を広げていきたいと思つています。団地の指導士の方たちと力を合わせて「一日一ミリ、一

たすねてみたら

健康第一を目標に 多趣味を続ける

山本忠信さん 旧陣屋3区



No.93

「多趣味と聞いていますが。仕事をやめて十数年たちますが私は仕事をしている時から趣味として魚釣り、山菜取り、ゴルフ、狩猟など友人数人と毎年シーズンになると何回か出かけています。

「魚釣りは何を釣るのですか。」主に鮎の釣りをしていきます。友釣りはオトリ鮎を使って鮎の習性(自分の餌場を守る)を利用して釣る漁法です。六月一日の解禁の日にはまだうす暗い時間から大勢の人が川原で自分の好きな場所を釣り開始の花火の合図を待っています。この待ち時間がすごく長く感じます。花火が鳴って一斉に釣りが始まりますがなかなか釣れなくて同行した漁友が釣り上げるとあせつてしまいます。

また、岩手県に漁友仲間がいて年々「シユーター」を合言葉として、笑顔で体操指導をしています。

まず地元の皆様へ恩返し公的役割を担い、常に対話と協調で取り組み皆様方のお役にたきたい、合わせて地元ボランティアに参加し会話と活動の場を模索し自分の出来る範囲で、趣味と健康のために努力させていただきます。

これからの人生は、家族とともに人々の集団の中で助けられたり助けたりする生活が一番大切な事と考えております。この先高齢化社会の仲間と共に頑張ります。

「ゴルフの楽しみ方は、又これからは。いくつかのグループに入り定期的コースに出てゴルフを楽しんでいます。ゴルフの良い所は自分の体力にあわせてプレーが出来ることではないでしょうか。三十年近く続けているグループ(念もありません)も楽しく続けています。

他に春には山菜取り、秋にはきのこ取り、冬には狩猟と山に出かけています。これから先どれ位出来るかわからないが、出来る事に感謝しながら健康第一を目標に続けていきたいと思つています。

傘寿に思う



旧陣屋1区 鶴田 宏

公私ともに多忙な日々を過ごしふと気がつく、傘寿を迎える年齢となりました。これまで健康でこられたのも家族の援助と地域の皆様のご支援ご協力の賜物と深く感謝しております。

さて、これからの人生をいかに有意義に暮らそうかと思索してみますと夢も希望もなく孤独感にまわれさびしい気持ちで一杯です。これでは遺憾と思ひ、これからの人生の目標を立て挑戦して見る気持ちに切り替えを図ります。

地域防災機関の交流

消防団がどのような機材を使つて災害に対処しているかをゲーム形式で体験し、防災意識を高めようという企画した交流会が六戸小学校で行われた。今回で3回目となる。はしご車搭乗体験、ジェット

素早くホースを接続



着ているTシャツで担架を作る



編集委員

- 山本弘子
- 小川福子
- 羽生 力
- 塩畑敏之
- 長山春江

よろしく お願いします